



南中だより

No. 11 令和元年12月2日

伊丹市立南中学校長 柳井 泰司

吹奏楽部 秋のコンサート

11月4日（月・祝）午後1時から伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）で吹奏楽部 秋のコンサートが開催されました。

3年生は、11月2日（土）東りいたみホールで行われる第45回吹奏楽のつどいと秋のコンサートで最後の演奏となり引退しました。

吹奏楽部は、地域・学校のために、夏祭り、幼稚園・体育大会・文化祭など、たくさんの行事に参加してくれました。3年生の皆さん本当にありがとうございました。



プログラム 第Ⅰ部 マーチ「エイプリルリーフ」

「君の名は。」メドレー

「千と千尋の神隠し～ハイライト～」

第Ⅱ部 テキーラ GUTS

♪3年生だけのラストステージ♪ Get it On ～黒い炎～



稲野総合文化展



稲野総合文化展が、11月3日（日）午前10時から午後4時まで稲野文化センターにて行われました。

地域から、書画、生け花、手芸品、陶芸等町内の方々が日頃趣味として作成された作品や、同好会で研鑽・習得された作品を展示されていました。

本校美術部と家政部は文化祭で披露した作品を出品し、地域の皆さまに披露させていただきました。



薬物乱用防止講演会 「誘われても断る勇気を！」

11月6日（水）6校時に全校生を対象に、薬物乱用防止講演会を体育館で行いました。講話を阪神北少年サポートセンター 西村 麻友子 氏にいただきました。

講話から、身近な薬物の種類として、タバコ・シンナー・覚醒剤・大麻などがあり、薬物依存の恐さ、タバコを習慣的に吸引し続けると喉頭癌等の発生率が高くなることを知りました。また、覚醒剤は興奮作用があり、何でもできると思ってしまい、大麻には抑制作用があり、ふわふわした状態になり、脳が作ったネットワークを破壊することなど、薬物は心やからだに悪影響を与え、薬物を乱用した人が事件や事故を起こし社会的に影響がでていることを教えていただきました。

薬物は自分と他人の人生を大きく変えてしまい、一度手をだすとやめられなくなり、薬物には絶対にかかわってはいけないことを改めて認識することができました。



自分たちで作る「お弁当の日」

第1回 令和元年 11月25日（月）

第2回 令和元年 12月23日（月）

第3回 令和2年 1月14日（火）

『華やかおにぎり弁当』

『3色弁当』

『ひとりでできるもん弁当』

11月25日（月）に、第1回自分たちで作る「お弁当の日」を行いました。図書委員会が中心となり広報活動として、兄弟学級でポスターを作成しました。当日は、各クラス各自のお弁当を見せ合い、和やかな「お弁当の日」となりました。

「お弁当の日」の主旨は、伊丹市において学校給食が開始され、生産者の方々や学校給食を作っている中学校給食センターの方々、毎日の食事を用意してくださる保護者の皆さまに対して、日々感謝の気持ちを持つことが大切です。そうした中で、学校行事などで保護者の方が用意してくださっている手作り弁当は、第2次成長期の子どもたちにとって、親の愛情を感じ、感謝する気持ちをもち、生活を精神面で支える重要な役割があります。しかし、現代の子どもたちの置かれている環境を考えるとそれだけでは不足していると考えられます。

目的としては、適切な食生活のあり方を身につけ、生涯にわたり健康な生活が送れるようにするため、食事の重要性、食品や栄養素の正しい理解、調理技術や食品を選択する能力を向上させる実践的、体験的活動として、生徒自らが献立を考えてお弁当を作る「お弁当の日」に学校全体で取り組みます。

中学校の3年間で経験を積み、自立への実践力や自信に繋げるとともに家族など自分達の食生活を支えてくれている人々への感謝の心を深めます。



1年6組



2年4組



3年4組